



利用しやすい図書館について 図書館長 水澤 富作

本学図書館は大同学園創立50周年、大学創立25周年の記念事業として、平成元年（1989年）に建設され、四半世紀に亘り、教育・研究活動に係る図書情報基盤の充実と学修支援サービスや学生達の自主的な学び環境の充実にも努めてきています。また、昨年度から、大同大学学術情報リポジトリが図書館に置かれ、博士論文などの学内の学術研究成果等を電子的手段により恒久的に蓄積・保存し、学内外に無償で公開しています。

情報化時代の到来に伴い、図書館の利用形態が大きく変わってきています。大学や自宅のパソコンやスマートホンで



インターネットを活用すれば、図書情報のデータベース化、電子ジャーナル（e-journal）や電子図書（e-book）が急速に発展してきているので、各種の図書、雑誌やデジタル情報等の蔵書検索はもとより、出版社、学会や研究機関等の書誌情報やコンテンツ

が検索でき、またダウンロードすることも可能です。

時代にそぐう様に、図書館資料のデジタル化や電子ジャーナル等の導入にも努めています。

このような利用環境の大きな変化の下で、大学図書館の利用のあり方を、改めて考えてみたいと思います。

私の学生時代、特に院生時代は、蔵書棚に囲まれながら、ひとり黙々と勉強（文献調査）する場所が図書館でした。鉱山で金鉱を掘り当てるような期待感を持って、図書や雑誌に目を通し、必死でメモを取りました。まさに、「書を読みつゝ見知らぬ人と／友になり」の世界でした。このような光景は、蔵書室で見かけることがあり、おもわず頑張れと声をかけたくなります。

本学の図書館には、当初から、グループで勉強したディスカッションできるように2階にグループAV室とグループ閲覧室が設けられています。まさに、グループで利用できるラーニング・コモンズの小空間であり、ここでグループ活動により知識や経験を身に付けてゆく能動的学修（アクティブラーニング）が期待されています。グループで利用できるラーニング・コモンズの領域（簡易的な部屋空間）を増やして行きたいと思っています。

図書館の1～3階にOPAC（検索用のPC）が2台ずつ設置されています。1階のブラウジングコーナーには、サテライトPCが10台設置されています。昨年度、1階にWi-Fiネットワークも設置されました。スマートホン同様に、館内でノートパソコンが自由に利用できるように、利用目的に応じたルールづくりと環境整備について検討を進めたいと思っています。

利用しやすい図書館に対して、学生の皆さんの意見を是非聞かせてください。

選書ツアー

平成26年7月3日(木)、三省堂書店名古屋高島屋店にて、今年度の「選書ツアー」を実施しました。

この企画は、今年で4年目になります。参加者の評判が良いので、毎年の恒例行事になっています。

選書ツアーは、本学の学生自身が、本学図書館に置いておきたい本を、大型書店で現物を選んで購入する企画です。選書ツアーで購入された本の貸出率は、他の本に比べるとかなり高いので、今年も、学部生や大学院生の皆さんに選書を協力してもらいました。



また、今年は、学生の参加者に加え、キャリアセンターのスタッフにも参加してもらって、資格取得や、就職活動を支援するための資料の選書にも力を入れてきました。



本学の図書館は、主に工学と情報学を中心とする学術専門書を所蔵する図書館ですが、選書ツアーでは、教養を育むための資料や学生生活、課外活動を支援する資料など、幅広い分野の資料を選書の対象としています。



参加者は、興味のある本や、個人ではなかなか手が出ない高価な本をどんどん買い物かごに入れて、選書を楽しんでいました。

今年予算は、1人当たり25,000円相当としました。

これからも続けていきたい企画ですので、興味のある



方は、次回開催時に是非参加して下さい。



今年の選書ツアーで購入した資料の一部を紹介しましょう。

選書ツアー購入リスト（抜粋）

『10代のうちに知っておきたい折れない心の作り方』
『ビジネスマンのための「数字力」養成講座』
『どんな時代もサバイバルする人の「時間力」養成講座』
『美しい人の立ち居振る舞い講座』
『世界の美しい透明な生き物』
『休む技術：かしこくコスパを上げる大人のオン・オフ術』
『トコトンやさしい3Dプリンタの本』
『ウェブデザイン & 配色の見本帳』
『お菓子とケーキデコレーションの基本』
『SFファンタジーを描く100のイラスト上達テクニック』
『日本全国で当地スーパー掘り出しの逸品』
『ハリネズミまるたろうの毎日』
『長友佑都体幹トレーニング20』
『コロボックル絵物語』
『ディズニー：アナと雪の女王：ビジュアルガイド』
『思い出のマーニー：特装版』

【就職・資格】

『速攻!!ワザあり面接 & エントリーシート [2016年度版]』
『履歴書エントリーシート志望動機自己PRの書き方』
『女子学生のための最強の就職面接 '16年版』
『業界と職種がわかる本：世界一わかりやすい '16』
『最新最強の資格の取り方・選び方全ガイド』
『仕事のカatalog:「なりたい自分」が見つかる!』
『教員をめざす人の本』
『最新土木業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』
『最新建設業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』
『最新機械業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』
『最新電機業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』
『最新化粧品業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』
『最新食品業界の動向とカラクリがよ〜くわかる本』
『最新スポーツビジネスの動向とカラクリがよ〜くわかる本』

図書館長との懇親会

平成27年2月20日（金）、図書館の館長室にて、水澤図書館長と、図書館利用者との懇親会を実施しました。

図書館のパワーユーザである4年生5名が参加して、図書館への熱い思いを語ってくれました。



「図書の検索システムは、学生自身が本にキーワードを付けられるようになると、検索機能がもっと便利になると思う。」

「HPのデザインをシンプルにして欲しい。」「欲しい資料の配架場所が一目でわかる簡便な図書館マップが欲しい。」「資格関連の図書については、資格の種類をもっと増やして欲しい。」「公共図書館



のように、検索結果をレシートプリンターで出力して欲しい。」といった意見が出されました。

また、「図書館は『敷居が高い』と思う。」という発言から、こうしたイメージを払拭するため



に、「専門的な分類だけでなく、『おしゃれ』『かわいい』と言ったいわゆる『ゆるい言葉』のキーワードで分類したり、この分類を募集するイベントを行ったらどうか。」

「各専門分野の導入用に、児童向けレベルの易しいものを入れてみてはどうか。」「靴を脱いで座ることができる畳コーナーがあると良い。」「本の紹介（POP）を学生食堂や、女子学生専用ルームに貼ってアピールしたら良いと思う。」といったユニークなアイデアも沢山出されました。

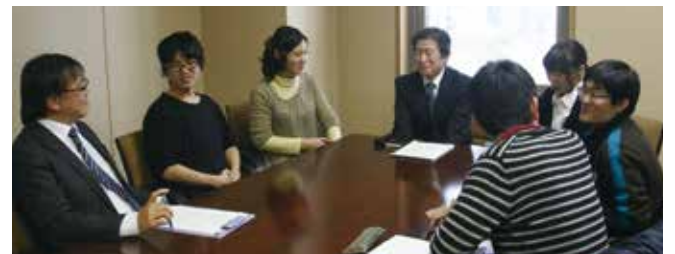


予定時間を大幅に超えて、熱く



語ってくれた皆さん、ありがとうございます。

図書館は、これからも利用者の皆さんの意見に耳を傾け、より使いやすい図書館を目指していきます。



（参加者）
水澤富作図書館長、篠ヶ瀬宏美（D11）、仲村準也（D11）、
稲垣幹人（E11）、小関在（D11）、小松嗣人（E11）

図書案内POP展2014

平成26年7月1日（火）～9月4日（木）の期間、図書館1FエントランスホールとB棟1F学生食堂西側通路の柱掲示板を使って、POP展を実施しました。

POP(Point of Purchase advertising)とは、販売促進のための広告媒体の一つで、書店などで見かける本の内容を分かり易く解説したカードのことです。図書館では、図書の紹介カードとして展示しています。

POP展では、学生が制作した傑作POPを中心に、この1年間で制作されたものを紹介しています。



図書館を使いこなしましょう！

－ 図書館スタッフからアドバイス －

本の探し方

図書館は、読みたい本を本棚で見つけて使うことができる便利な施設です。

でも、実は、本棚をさまよい歩くだけでは、求める本に巡り合うことがとても難しいのです。

大同大学図書館の本棚には、25万冊以上もの本が並んでいます。

そこで、図書館の所蔵を調べるための検索システム（OPAC：オーパックと言います。）が必要になります。

OPACは、本学図書館のどこに本があるかだけでなく、他大学や公共図書館の所蔵状況も知ることができる、とても便利なシステムです。

更に、この検索システムは、皆さんのスマホや、自宅のPCからも使って頂けるようになっています。

検索画面の開き方

図書館のQRコードや、URLを使って図書館システムにアクセスして下さい。



http://lis.daido-it.ac.jp/limedio/i/index_daido.html

マイライブラリ

図書館システムに、利用者IDとパスワードを入力して、「マイライブラリ」にログインすると、さらに便利な機能があります。



図書館に欲しい本が無かった場合は、時間に余裕があれば、図書館に購入のリクエストをすることができます。

また、自分が今借りている本のリストや、過去に借りた本の履歴を見ることができ、今借りている本の返却期限日

を延長することもできます。

論文検索

OPACは、本や雑誌の所在を探せるだけではありません。検索システムの中の「SFX(エスエフエックス)」という機能

を使うと、Web上に無料で公開されている論文を見つけることもできます。



ググる？

今の世の中は、Googleを使うと大抵の事は検索できて、とても便利ですね。

しかし、これだけに頼るのは危険なのです。大事な卒業研究での情報収集が片手落ちで、大切な研究成果が台無しということにもなりかねません。

必要な情報は、漏れなく収集するということがとても大切なのです。

高度な検索

実は、図書館には、もっと便利なツールが沢山あります。

「J-DreamⅢ」、「CiNii」、「BLDSS」などです。

しかし、これらをいきなり自力で使いこなすことは、かなり難しいと思います。

レファレンス

そこで、最終的に図書館で最も便利なサービスが、レファレンスサービスなのです。

聞き慣れない言葉なので、少し抵抗があるかもしれませんが、要するにカウンターで直接質問して、教えてもらうという方法です。

「こんな本を探しています。」「こんなレポートの課題がでたんですが・・・。」「卒研で〇〇をテーマに情報収集しています。」などと、図書館のカウンタースタッフに声をかけてみて下さい。

資料の有無や、置いてある場所はもちろんのこと、資料の探し方などにも丁寧にお応えします。